

令和8年度 岩手県立花北青雲高等学校経営計画

校長：高橋 幸美

1 校訓・教育目標		校訓「自立 創造」 社会的に自立し、社会に貢献できる力を養うとともに、学校生活を通じて知と技の創造力を高め、自らの将来設計に資するよう努める。 教育目標「キャリアデザイン」～自分らしい生き方の設計～ 総合的な専門高校における多様な体験的・実践的教育活動を通じて、生きる力を(=人間力)の向上に努めながら自己の将来像を探究させる。	
2 スクール・ポリシー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	・【豊かな心】…正義を重んじる心、他を思いやる心、高い規範意識と倫理観 ・【確かな職業観】…働いて自立し、地域や社会の発展に貢献しようとする意欲 ・【知力と技】…専門性を生かし、地域の課題を発見・解決を目指す知識と技術 ・【対人関係力】…コミュニケーション力、集団や組織の中で協働できる力	
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	・企業や地域社会と連携した、実践的・体験的教育活動に取り組みます ・専門知識・技術と社会とのつながりを踏まえた学習活動に取り組みます ・専門性を高めた高度資格の取得に向けて手厚く取り組みます ・社会人としての心構えやマナーなどの定着に取り組みます	
	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	・専門科目の基礎知識を身につけ、その専門性を高めるため進学を希望している人 ・身につけた専門性を生かし、地元企業等への就職を希望している人 ・企業や地域社会との連携した取組により、実践力を高めたい人 ・学習や部活動等により自身の人間力を高めたい人 ・専門教科(工業、商業、家庭)の教員を目指している人	
3 魅力化協働パートナー		・花巻市工業会 ・花巻商工会議所 ・花巻市社会福祉協議会 ・富士大学 ・北上川ものづくりネットワーク ・北上コンピュータアカデミー	
4 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
		ア 新学習指導要領に基づく授業改善と学力の向上	・学習の目標が明確で、工夫された学習活動が行われ、分かりやすい授業が行われていると答えた生徒の割合【85%以上】
		イ 学校いじめ防止基本方針に基づき、学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止	・いじめの未然防止に十分に取組んでいると答えた生徒の割合【85%以上】
		ウ キャリア教育の充実による、生徒の進路希望の実現	・生徒の希望や適性に応じた進路指導を行っているという答えた生徒の割合【85%以上】
		エ 困難を抱える生徒の支援体制の充実	・生徒の悩みに親身に対応していると答えた生徒の割合【80%以上】
		オ 情報発信による開かれた学校づくり	・刊行物やホームページなどで、校内の情報が適切に伝わっていると答えた保護者の割合【80%以上】
		カ 信頼される学校づくりと働き方改革	・本校での教育活動にやりがいを感じると答えた教職員の割合【85%以上】
		キ 生徒の個人を尊重し、不適切な指導を根絶する組織体制を構築する	・安心して学校生活を送ることができると答えた生徒の割合【85%以上】

(様式1)【高等学校用】

(2) 取組方針	<p>ア 授業改善と学力向上</p> <p>(7) 新学習指導要領実施により、各教科の研修成果・各種調査結果の共有と互見授業による授業改善を推進し学力向上を図る</p> <p>(4) ICTを積極的に活用した授業の実施と学習指導方法の検討</p> <p>(5) 各教科および教育活動と連動した復興教育の充実</p>
	<p>イ いじめの早期発見と解消に向けた適切な対処（適切な対処）</p> <p>(7) 「いじめ防止対策推進法」、「学校いじめ防止基本方針」に即して取り組むとともにその改善を図る</p> <p>(4) 生徒が相談しやすいように、日頃から生徒との信頼関係を築く</p> <p>(5) 部活動顧問や教科担任と連携し、生徒の表情や行動等を注意深く観察し、家庭との連絡を密にして変化を見逃さない</p> <p>(5) アンケート等の結果を基に面談を実施することで生徒の情報を共有し、早い段階から複数の教職員で的確に関わる</p>
	<p>ウ キャリア教育の充実</p> <p>(7) 社会を担う人材としての知識・技術の習得</p> <p>(4) 企業が求める人材像を踏まえた望ましい職業観と対人関係の育成</p> <p>(5) いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業等を活用した地域産業の周知と産業人材の育成</p>
	<p>エ 困難を抱える生徒の支援・サポート体制の構築</p> <p>(7) 困難を抱える生徒の早期把握と支援の実施</p> <p>(4) 職員の共通理解と情報の共有及びスクールカウンセラーとの連携</p>
	<p>オ 情報発信による開かれた学校づくり</p> <p>(7) 学校ホームページ・noteの運用と充実</p> <p>(4) メール配信や刊行物による積極的な情報発信</p>
	<p>カ 信頼される学校づくりと働き方改革</p> <p>(7) 教職員間のコミュニケーションとチームワークを重視したコンプライアンス意識の高揚</p> <p>(4) 目標の共有と学校課題への組織的かつ計画的な取り組み</p> <p>(5) 教職員の健康管理と業務改善</p>
	<p>キ 生徒の個人を尊重し、不適切な指導を根絶する組織体制を構築する</p> <p>(7) 全教職員が生徒の人権を尊重し、生徒に寄り添った指導を行う</p> <p>(4) 全教職員が不適切な指導等について理解し、教職員全体でそれぞれの指導等が不適切になっていないか確認する</p>
5 業務量管理・健康確保措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外在校時間の縮減 ・ 校務における生成AIの適切な活用 ・ 衛生委員会による教職員への安全衛生に関する情報提供